

生物分類技能検定

生物分類技能検定は、一般財団法人自然環境研究センターの登録商標で、生物に関心をもつ方々を対象に、分類の知識向上を目的とし、自然環境の調査・保全を担う人材を育てるとともに生物分類学の発展に寄与しようとするものです。

生物分類技能検定1級、2級の登録者は、環境省の「一般競争（指名共同）参加資格申請」の有資格者として認められています。そのほか林野庁や地方自治体などの自然環境に関わる調査・保全業務等の入札資格としても取り入れられています。



一般財団法人
自然環境研究センター
JWRC JAPAN WILDLIFE RESEARCH CENTER

生物分類技能検定には、生物が好きな一般の方を対象とした4級、3級、生物調査の専門家を対象にした2級（動物、植物、水圏生物の3部門）、さらにプロフェッショナルを対象にした1級が設置されています。特に1級、2級は、自然環境に関わる調査・保全等の事業の生物技術者として求められています。近年では、メーカー等のCSR部門や生物多様性関連部門でも生物分類技能検定の有資格者が求められるなど、活躍の場が広がっています。

酪農学園大学では、生物分類技能検定の資格取得を目指す学生を支援しています。

（在学中は4級から2級までを受験できます）

受験はCBT（テストセンター）で受けることとなります。<https://cbt-s.com/testcenter/#pE58C97E6B5B7E98193>
北海道では札幌を中心に、函館や稚内など複数の場所で受験できます。



大学在学中の4年間で、ぜひ4級から2級までチャレンジしてみてください。

* 試験期間は、おおよそ8月中旬から10月下旬の間です。

より詳しい情報を知りたい人は、酪農学園大学キャリアセンターにお問い合わせをお願いします。

